

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業
大学教育推進プログラム 審査結果表

機 関 名	慶應義塾大学		
取 組 名 称	科学的思考力を育む文系学生の実験の開発		
取組学部等	全学		
整 理 番 号	A3032	取 組 期 間	3年
事 項	初年次教育、課題探求能力の育成、学習経験の差に対応		

当該取組は、本事業の趣旨に照らして審査を行った結果、学士力の確保や教育力向上のための取組内容が非常に優れているとともに、達成目標の実現性も高く、成果と今後の展開が期待できると高く評価した。

なお、審査結果に基づく詳細は以下のとおりである。

[特に優れた点]

- ・文理融合型の判断力の育成を目指す点は挑戦的であり評価できる。
- ・心理学を一つの入り口として科学的思考を認識し、さらに実験テーマ、論述を身につけるプログラム開発などに新規性がある。
- ・実体験型科学教育であり、目的が明確にされている。この取組内容が典型化されれば、他の大学等に広く影響を与えることが期待できる。

[改善を要する点等]

- ・ここで挙げられているような目標を達成するには、心理学を扱うなどの題目だけでなく、具体的にどのような内容を、学生同士のどのような活動によって育成するのかなど、基本的な学習環境設計技術をもっと研究し活用すべきである。
- ・全体としては大きなプロジェクトだが、一人の学生から見るとどれか一つの実験を扱うなど断片的な学習体験ができるだけに留まっているように見える。
- ・いくつかの実験を有機的に組み合わせて体験できるようにするなど、統括的なデザインが望まれる。

[その他]

- ・文系と理系という切り分け方や何を科学的思考と考えるかについて、もう少し斬新な視点を取り込むべきではないか。